

村山



天神湯野沢鹿の子踊 (湯野沢伝統芸能保存会)

◆当日の演目 道踊り・入庭・三本舞・狂い獅子

江戸時代後期に隣村の鹿の子踊を参考にして始められたとされる七頭鹿の子踊です。鹿の子と鉦ぶちが一体となって舞う華麗な舞に注目です。山寺警司(はんじ)祭では第二番の格式を誇ったといわれる鹿の子踊です。



尾花沢まつりばやし (尾花沢まつりばやし保存会)

◆当日の演目 おげんけ・やえん・すころ
◆定期公演情報 8月27日9:00~おはなざわ花笠まつり(諏訪神社大祭)

尾花沢まつりばやしは三味線・笛・太鼓から編成され、昭和56年に尾花沢市無形文化財に指定されました。現在は公民館事業の一環として週1回教室を開催し小・中・高校生と指導者約60名で伝承活動を行っています。

最上



堀内田植え踊り (堀内伝承文化保存会)

◆当日の演目 堀内田植え踊り
◆定期公演情報 9月14日10:00~舟形あゆパーク

堀内田植え踊りは、百数十年の歴史がある踊りです。内陸と庄内を結ぶ最上川は、貴重な交通の場で、天候により舟が出せない時に、船頭と村の若者達が交わり、伝えられてきたものです。町の無形文化財に指定されています。

合海田植え踊り (合海田植え踊り保存会 子供タウエーズ)

◆当日の演目 合海田植え踊り、大黒舞い
◆定期公演情報 6月1日7:00~大蔵村合海全戸

清水城主がひろめたとする合海田植踊りは約440年の歴史があります。田植えの終わった6月の「さなぶり」に合海地区全戸を訪れ極めて珍しい「門つけ舞い」を毎年披露しています。



上山藩鼓笛楽 (上山藩鼓笛楽隊) (上市市)

◆当日の演目 早足(はやあし)・遅足(おそあし)・礼式(れいしき)
◆定期公演情報 9月14日13:00~上市市内(秋祭り 三社神輿渡御行列)

上山藩鼓笛楽は、戊辰の役の頃に上山でフランス式の軍隊訓練を行った折に奉奏されたことが始まりと伝えられる。その後一時中断したものの、昭和2年に復活し、上市市の無形文化財に指定されている。



中部小豆奴 (谷地中部小学校) (河北町)

◆当日の演目 中部小豆奴
◆定期公演情報 7月21日16:00~18:00頃 河北町谷地中央通り<八幡宮そば>(きゅうり天王祭) 9月14日15:30~17:30頃 河北町谷地中央通り<八幡宮そば>(谷地どんが祭)

中部小豆奴は発足以来三十数年間、谷地八幡宮で行われるきゅうり天王祭やどんが祭り、その他のイベントで奴行列を披露してきました。谷地の伝統を守り引きつごうと、練習に励んでいます。今日も元気に奴を振ります。



八敷代番楽 (八敷代番楽保存会)

◆当日の演目 地神舞
◆定期公演情報 山神の祭 9月12日13:00~八敷代地区山神社



八敷代番楽 (八敷代番楽保存会)

◆当日の演目 地神舞
◆定期公演情報 山神の祭 9月12日13:00~八敷代地区山神社

真室川町には3地区に番楽が残っており、その中の八敷代番楽は歴史的に町内で最も古いといわれ伝えられている5拍子の番楽です。昭和60年に番楽保存会を設立し、技術向上、子どもへの伝承に取り組んでいます。

『民俗芸能のつどい』

日本一さくらんぼ祭り

山形県は4つの地域に分かれ、地域ごとに民俗芸能をはじめとする豊かな文化を育んできました。日本一さくらんぼ祭り「民俗芸能のつどい」では、各地域から特色のある民俗芸能が持つ豊かな魅力の一端に触れていただきます。

置賜



鮎貝八幡宮七五三獅子舞 (鮎貝八幡宮)

◆当日の演目 鮎貝八幡宮七五三の舞
◆定期公演情報 10月第2土曜日17:30~鮎貝地区内 10月第3日曜日14:00~八幡宮境内

鮎貝八幡宮の獅子舞は、7歩進んで5歩退き3歩で元の位置に戻る舞手の足の運びからつけられた七・五・三の舞である。古い獅子頭は、正徳2年、青季販売で京に上った折に、舞を伝授された時の物と伝えられている。

庄内



福山神楽 (福山神楽保存会) (酒田市)

◆当日の演目 獅子舞・道化舞・あやおり
◆定期公演情報 8月14日8:00~18:00頃まで 福山地区の13ヶ所の神所

福山神楽は、地区の三神社に伝わる神事で獅子舞は家内安全、身体堅固を、道化舞は子宝祈願、安産祈願、あやおりは刀等を使った曲芸で神事としての神楽をより高める為に練習を重ね、習得し伝承してきた演目です。



西袋獅子踊 (西袋獅子踊保存会) (庄内町)

◆当日の演目 大踊の一部
◆定期公演情報 8月13日 西袋皇大神社

西袋獅子踊は、遠く江戸時代に、近隣の四ヶ村獅子踊から伝えられたと言われています。中獅子・剣獅子・虎獅子・女獅子・白鷺獅子の五頭のシシと、太刀使い、棒使い、鯉摺りなどからなるシシ踊りです。

平小獅子踊り (長井市) (平野小学校)

◆当日の演目 平小獅子踊り
◆定期公演情報 5月24日12:55~長井白つじ公園 多目的広場(雨天時タスパークホテル)

平小獅子踊りを後世に伝えようと、昭和53年から平野小に伝承されました。地域の方々の熱意に支えられた踊りは、子供達の憧れであり、6年生にとっては、伝統を守り伝える一人として、誇りをもって演じる宝物です。



地に!!太鼓まつり



六郷豊饒太鼓 (豊饒太鼓推進委員会) (米沢市)

◆当日の演目 わんぱく太鼓・天空の鷹(てんくうのたか)
◆定期公演情報 10月26日12:45~15:30(予定) 六郷小学校(第10回太鼓まつり)

米沢市六郷地区に新しい文化と青少年の健全育成を目的に平成13年「豊饒太鼓推進委員会」を発足。今年は地区の小学生9名と大人10名で、伝承文化の継承、そして地域づくりに繋がればとの思いで活動しています。

宮野浦神楽 (宮野浦日枝神社神楽保存会) (酒田市)

◆当日の演目 宮野浦日枝神社大黒舞
◆定期公演情報 1月2・3日10時・13時・15時 宮野浦日枝神社拜殿

宮野浦日枝神社の歴史は古く、平成18年に創建1200年を迎えました。その長い歴史の中で、現在受け継がれているのが、獅子舞と大黒舞です。大黒舞は、獅子舞の後、福の神を呼ぶために舞われております。



日本一さくらんぼ祭り 「民俗芸能のつどい」によせて

民俗芸能は、演技を披露する良いチャンスに恵まれることが必要です。また、より多くの観客の前でたくさんの拍手をもらうことも必要です。それが演じる側の「やる気」につながります。「自分もやってみたい」という若者があらわれるかも知れません。もともと民俗芸能の多くは野外で演じられていました。路上で行われる日本一さくらんぼ祭り「民俗芸能のつどい」は、演技者と観客が身近に触れ合えるほどよい距離感があり、その魅力を存分に味わっていただき、大いに盛り上がりしてほしいと思っています。



コーディネーター
東北文教大学短期大学部教授
菊地和博